

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/9 (金)	1	市民の会 城中利文	1、市政運営に対するビジョン	(1) 取り組み姿勢 市政への取り組み姿勢を問う (2) 主要事業への取り組み ・人口減少問題 ・子育て支援 ・産業振興など (3) 市域全体のランドデザイン 具体的に、何をどうするのか。
			2、骨格予算の編成と今後	(1) 骨格予算の目的 予算の性質と目的 今後の展開はどうするのか。 (2) 財政の健全化 攻めるべきは攻めるとの両立 向こう10年間の見通し
			3、先端技術の活用	(1) どう政策に採り入れるのか 方向性と具体化手順 (2) 費用対効果 新しいだけではなく、具体的な効果とその費用
			4、総合政策アドバイザー	(1) 基本的考え方 どう聞き、どう活かすのか。 (2) 政策立案との関係 政策立案までの基本的プロセスは 議会説明のタイミングは (3) 費用対効果 費用の見込は (4) 職員への波及 職員の能力開発にどう結び付けるのか
		市民の会 丸戸研二	1、組織機構の改編について	(1) 改編の目的 求める効果は何か 何がどう変わるのか (2) 職員の能力開発と組織の在り方 職員数の推移 職員の能力をどう発揮させるのか
			2、大型事業について	(1) 企業誘致事業、中小企業振興事業 目標数値と取り組み方針 企業に直接投資し、企業を育てる仕組みとは (2) 讃岐造船跡地開発 あくまでも賑わい創出なのか ドックが不要になった場合 開発手法とスケジュールは 詫間庁舎周辺整備との関係は (3) 工業用水供給事業 具体的スケジュールは 総事業費の想定とその財源 (4) 永康病院整備検討事業 二つの市立病院をどう位置付けるのか 検討のタイムスケジュールは 健全経営の確立策は
			3、合併特例債の運用と中長期財政計画	(1) 運用額の推移 (2) 5年間の延長をどう活かすのか (3) 起債残高とプライマリーバランス (4) 普通建設事業費の見通し (5) 公共施設の再配置への取り組みは (6) 今後の行政需要にどう応えるのか

発言通告書の要旨(代表質問)

平成30年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/9 (金)	2	清風会 浜口恭行	1、市長の政治姿勢	横山前市長が築き上げてきた基盤を守りつつ、新しいことにも挑戦していく。 山下新市長の「心をひとつに三豊市のまちづくり」に向けた政治姿勢と決意を聞く。
			2、財政問題	本年度の予算編成上での重点項目と、合併特例債など。 平成30年度における重点施策と財政見通しについて、プライマリーバランスなど見据えた将来の財政計画について聞く。
			3、活気にあふれ、産業が躍動するまち(産業・雇用)	① 農業や水産業における、情報通信技術(ICT)の活用とAIの先進的導入とは。 ② シティプロモーション活動とは、今回の最重要テーマである「人口減少対策」に繋げるべく具体的にどう展開していくのか。 ③ 地域商社、ふるさと納税、ふるさと住民票制度、など昨年度の成果と今年度の展開について聞く。
			4、豊かな自然と共生し、環境にやさしいまち(環境・生活)	① 空き家バンク活用の今後について ② 危険空き家の「空き家等対策計画」に基づく、自治会等との連携による見守り体制とは。
			5、指定管理者制度	松崎保育所などの指定管理者へのモニタリングについて、現状とモニタリング制度指針は。
		清風会 瀧本文子	1、待機児童対策について	幼保の窓口一本化で「保育幼稚園課」が設けられるが、これからの待機児童の見通しと対策について伺う。保育士確保の方策と処遇改善の見通しについても伺う。
			2、産後ケア事業の実施について	H30年度予定している産後ケア事業の実施内容について伺う。
			3、学校ICTの環境整備について	プログラミング教育やICT活用の個別学習の実施に向けて、新年度の整備内容と今後のICT計画について
			4、子どもの貧困対策について	「みとよ子ども未来応援計画」を基に、子どもの居場所づくりの取り組みを強めること、また教育と福祉の連携の重要性について教育費負担軽減のために、奨学金制度の見直しと入学金の援助制度について
			5、図書館について	①図書館基本計画の実行性について みとよ未来図書館の位置づけとシステム構築について ボランティア団体の育成、学校図書館との連携など ②学校図書館の充実について いつでも図書館が利用できるように、学校司書の専任配置を目指すことについて 地元スーパーバイザーも活用し、研修会の活発化を 子ども読書活動推進計画の策定について
	6、LGBTへの配慮について		「第3次三豊市男女共同参画プラン」に基づき、公文書の性別表記の廃止が実施されることについて	
	7、特定事業主行動計画の1年間の成果について		計画は2年目を迎え、その進捗状況や実施内容、今後の課題について伺う。 女性管理職の活躍の状況も伺う。	

発言通告書の要旨(代表質問)

平成30年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/12 (月)	3	社民党 三木秀樹	1、国から地方への「施策」に対する市長の基本的考え方を聞く	国の地方創生等について「意義あるもの」との市長見解であると思われるが、安倍政権は地方分権が進める「自主・自立での地方の独自性」に逆行し、「地方創生」「一億総活躍社会」等の施策は国の「お眼鏡にかなった」基準で判断する旧態の中央集権的施策で行われている事を認識しての見解か。国と地方のあり方についての基本的問題を聞く。
			2、新永康病院の「適切な判断と決定」(施政方針)をいつ行うのか、聞く	本当に新永康病院を建設する気構えがあるのか。市長は、三豊市の最大の懸案事項は、9年間も放置続ける「IS. 0,183」の耐震診断結果が出ている「永康病院」の建替え問題であるとの認識があるのか。議会の特別委員会報告を「どのように理解」しているのか。「適切な判断と決定」をいつ行うのか、市民が納得できる答弁を聞く。
			3、「第4次産業革命」に対する教育委員会の「教育環境整備」を聞く	2年前の産業協力会議での安倍政権答申を「我がまちの施政方針」に出すのですから、自信があるのでしょうか。聞かせて下さい。「目標実現に向けた教育環境整備」の中身を。ロボット[第四次産業革命の中心]に勝つ環境でなく、身近な教育環境整備が必要ではないのかを聞く。
			4、市内出身の大学生がUターンする市独自の「給付型奨学金」の創設を行っては	市内の企業の(新卒)人員不足は深刻である。貸与型(ローン型)奨学金の返済で、卒業後も苦勞している現実がある。それを解消し、市内の企業振興、人口減少に立ち向かう「攻めの姿勢」として給付型奨学金を創設してはどうか。市長の見解を聞く。
			5、詫間支所周辺を再編整備として「先送り」するのか、聞く	平成25年決定「市公共施設再配置計画」では、老朽化し、新耐震診断も「できない」状況の詫間支所の「北館」と福祉センター、勤労会館は「取壊す」方針だった。平成29年の「総合管理計画」で「建替えまたは移転」の「検討」と変質し、今後も「再編整備」として市全体のランドデザイン作成後に「検討する」という、先送りする理由を聞く。
	4	公明党 水本真奈美	1、施政方針について	①徹底した現場主義で問題抽出するとは ②人口減少問題に立ち向かう攻めの姿勢、新たな挑戦とは ③市民全員が心をひとつにした「チームみとよ」 ④10年20年を見据えたまちづくりについて市長の政治姿勢と決意を伺う。
			2、平成30年度新年度予算について	経常的経費や継続事業を中心とした前年度比1.1%減の「骨格予算」と位置づけ、新年度予算(308億4千万円)とし5年連続300億円を超えている。①今後の補正の見通し。②基金残高の推移③地方交付金が基金残高調整で減額となる事から基金の積み立て保有の考え方を伺う。
			3、中小企業支援について	①事業承継支援 ②生産性向上特別措置法案における中小企業の設備投資に対する固定資産税の特例措置について
			4、マイナンバーカードの活用について	マイナンバーカード活用で地域活性化事業【相乗りタクシー事業】
	5	桜の木 田中達也	1、中小企業・小規模事業者振興について	①企業立地促進事業と既存事業所への対応について 平成30年度主要重点施策「企業立地促進事業」として、企業誘致活動を行うとあるが、既存の事業所にとっては深刻な働き手不足に拍車をかける懸念もある。地域で雇用を生み、歳入にも貢献している既存事業所に対しての支援について、どのような施策を考えているのか、また企業誘致とのバランスについて問う。 ②中小企業・小規模事業者振興に特化した条例の制定について 平成26年6月27日に「小規模企業振興基本法」が公布されて以降、中小企業・小規模事業者に特化した条例を制定する自治体が増加している。三豊市においても中小企業・小規模事業者を取り巻く社会構造は大きく変化しており、事業者の持続的発展を目的とする条例の制定は必要であると考え。当局の考えを問う。
			2、ふるさと納税について	ふるさと納税は返礼品の良し悪しを競う、自治体による小売競争の様相を呈しており、地域産業振興の側面も大きいと考える。三豊市では地場産品のみを取り扱っており、節度ある対応が評価できるが、今後さらに競争が激化する上ではさらなる工夫が要求される。ふるさと納税額の増と地域産業の活性化の両立を期待し、今後の対応について問う。
			3、三豊市公式サイトについて	①スマートフォン対応について 現在スマートフォンの利用率は7割を超えていると言われており。三豊市公式サイトについても、多くの市民がスマートフォンで閲覧していると考えられるが、現時点ではスマートフォン用レイアウトでの表示に対応していない。今後の対応を問う。 ②サーバ能力について 1月の市議会議員選挙において、三豊市公式サイト上に開票速報を掲載した際、アクセス集中による閲覧不能が多発したことを確認している。公開すべき情報が満足に伝わらない状況は改善すべきと考え、今後の対応を問う。 ③「常時SSL化」対応について サーバを直接攻撃せず、通信途中に第三者が割り込んで通信内容を変更する「中間攻撃」が発達したことにより必要性が高まった「常時SSL化」について、三豊市公式サイトでは対応がなされていない。閲覧者が中間攻撃による被害を受けるリスクがあり、行政が正確な情報を市民に届けるという観点からも早急な対応が望まれる。今後の対応を問う。